

0

Chorus  
Ohyama

with

Orchestra  
Ensemble  
Kanazawa

2011



文化庁

平成23年度 文化庁  
優れた劇場・音楽堂からの  
創造発信事業

第16回演奏会

合唱団おおやま with オーケストラ・アンサンブル金沢

とき／2011年 8月 20日(土) 14時 30分開場 15時開演 ところ／富山市大山文化会館

主催／富山市・合唱団おおやま・(財)石川県音楽文化振興事業団・石川県立音楽堂 共催／北日本新聞社 後援／FMとやま





## ヴォーカル・アンサンブルのための 島唄・花

[1] 島唄 (作詞・作曲)宮沢 和史 (編曲)信長 貴富

[2] 花 (作詞・作曲)喜納 晶吉 (編曲)信長 貴富

(曲目解説)

この2曲は、ハンガリーの6人のアカペラ・ヴォーカル・グループである「パンキエーリ・シンガーズ」の来日公演のために、混声6部の無伴奏(アカペラ)合唱曲に編曲されたものである。

「島唄」は、甲府生まれの宮沢和史が何度も沖縄を訪れるうちに、沖縄の文化とその美しい風景の裏にある悲しい戦争の歴史に胸打たれて書いた曲。三線(さんしん)を取り入れ、琉球音階で書かれたこの曲は、日本のみならず、アルゼンチンなど海外でも大ヒットしている。1992年、沖縄の方言で歌われたウチナーグチ・ヴァージョンが沖縄で大ヒット。標準語のオリジナル・ヴァージョンが1993年全国で発売された。

「島唄」とは、もともと奄美大島の民謡を指す言葉だが、現在、この歌の影響で、琉球民謡の意にも使われ始めている。

「花」は、ウチナー(沖縄)・ポップの代表格である喜納晶吉の曲。オリジナルは、1980年に発売されたが、1990年代に大ヒットし、世界60か国以上でカバーされ、3000万枚を売り上げた。



## モーツァルト ディヴェルティメント第17番 K.334より

[1] 第1楽章 アレグロ ニ長調

[2] 第3楽章 メヌエット ニ長調

[3] 第6楽章 ロンド、アレグロ ニ長調

(曲目解説)

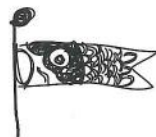
ディヴェルティメントは以前「嬉遊曲」と訳されていたが、その名の通り貴族の食事や祝日用の気軽なサロン音楽である。このディヴェルティメント第17番K334は、ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルトが1779年に作曲した管弦楽用のディヴェルティメント。全体が明るく美しい旋律に富み、優雅でパリ風の華やかさもある。上品な娯楽音楽として最もふさわしい音楽である。特に第3楽章のメヌエットは、しばしば『モーツァルトのメヌエット』と呼ばれ、よく知られている。ヴァイオリン独奏などで単独でもしばしば演奏される。



## 唱歌の12か月 -2部のための-

(編曲)青島 広志

- 1月のうた 序曲・富士山
- 2月のうた ギャロップ・雪
- 3月のうた 山のうた・春よこい
- 4月のうた 春の小川
- 5月のうた こいのぼり
- 6月のうた バグパイプ・雨
- 7月のうた 愛の夢・七夕さま
- 8月のうた ワルツ・うみ
- 9月のうた コントダンス・村まつり
- 10月のうた カノン・もみじ
- 11月のうた メヌエット・菊の花
- 12月のうた ノクターン・冬の夜



(曲目解説)

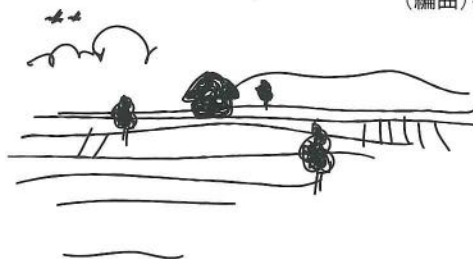
「世界一受けたい授業」などで人気の作曲家青島広志が、1月のうたから12月のうたまで、季節に合わせた唱歌・童謡を、最初はピアノ連弾用に編曲したものをさらに2部合唱用に編曲した。2部合唱なので、上のパートをソプラノとテノールが、下のパートをアルトとバスが歌っている。

よく知られている歌ばかりだが、いろいろ仕掛けがされていて、たとえば、ギャロップ(乗馬の速足が語源の早い2拍子の曲)、バグパイプ(スコットランドのスカートををはいた兵隊さんが吹く管楽器——曲中続くドとソの音を表しているのだから。)など、曲の感じを表す副題が付けられている。また、「山のうた・春よこい」には「春がきた」が、「こいのぼり」には別の「こいのぼり」という歌が、「メヌエット・菊の花」には「野ざく」が途中で出てくる。このほかにもいろいろフレーズが曲の中に差し込まれていて、簡単そうで大変な曲だが、いろいろ楽しめる曲である。



## ふるさと

(作詞)高野 辰之  
(作曲)岡野 貞一  
(編曲)榊原 栄







## ドブログス 「レクイエム」

### [1] Requiem

レクイエム・エテルナム・ドナ・エイス・ドミネ

### [2] Hostias

キリエ・エレイソン〜オスティアス〜サンクトゥス

### [3] Agnus Dei

アニュス・デイ、クイ・トリス・ペッカータ・ムンディ

### [4] Lux Aeterna

ルクス・エテルナ・ルーチェアト・エイス

### [5] Libera me

リベラ・メ、ドミネ、デモルテ・エテルナ

#### 〔曲目解説〕

「レクイエム」とは、死者のためのミサ曲のことで、亡くなった人の安息を祈るカトリック教会の儀式(ミサ)の際の音楽を指す。歌い始めの言葉が「レクイエム(ラテン語で「休息」の意味)」であることからこう呼ばれている。古今、数多くの作曲家によって作曲されており、合唱団おおよそでは、モーツァルト、フォーレ、ラター、デュリュフレのレクイエムを演奏してきている。

ドブログスは1966年アメリカ生まれでスウェーデン在住のジャズピアニスト。合唱曲を始めとして、ジャズテイストの器楽曲や声楽曲をたくさん作曲している。このレクイエムは、2001年に作曲されている。

この曲は、どの曲もゆったりとしたテンポで、単純で優しい旋律を何度も繰り返している。テノールとアルトが24回も(1)繰り返す「サンクトゥス」「オスティアス」の後半に出てくる。)には、子供のころに感じたさみしさのような甘い感傷を覚えるし、「ルクス・エテルナ」は、五音音階の優しいメロディが繰り返され、最後にソロが歌うと、まるで子守唄のようなこちよさがある。また、「オスティアス」のソロは、春の光のような明るさと暖かさがある。激しい情動があふれ出る「アニュス・デイ」や、「リベラ・メ」の荘厳なフレーズが途中現れるが、それらを包み込む優しさが全曲を通して感じられる。

## 在田 恭子 (メゾソプラノ)

富山県高岡市出身。東京芸術大学音楽学部声楽科卒業後、同大学院修士課程修了。国立バリ地方音楽院最高課程を審査員満場一致の首席にて修了後、マルセイユにある国立オペラ研修所にて研鑽を積む。サル・プレイエル、ポルドーやマルセイユ等の歌劇場でリサイタルをし、好評を博す。

モーツァルト「レクイエム」、ヘンデル「メサイア」、ベートーヴェン「第九」等、多くの宗教曲のアルトソロ、オペラにおいては、モーツァルト「フィガロの結婚」ケルビーノ、マルチェリーナ役、マスカーニ「カヴァレリア・ルスティカーナ」マンマ役など出演。トスティ歌曲国際コンクール(イタリア本大会)入選、日本声楽コンクール第2位、奥田良三賞受賞。



## 山下 一史 (指揮)

1984年桐朋学園大学卒業後、ベルリン芸術大学に留学。1986年ニコライ・マルコ国際指揮者コンクールで優勝。

1985年～1989年までカラヤンのアシスタントをつとめ、急病のカラヤンの代役をジーンズ姿で務め話題となる。ヘルシンボリ交響楽団(スウェーデン)首席客演指揮者、オーケストラ・アンサンブル金沢プリンシパル・ゲスト・コンダクター、九州交響楽団常任指揮者を歴任。また、2002年より大阪音大ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団常任指揮者を務め、2008年4月より同団名誉指揮者に就任。2006年より仙台フィルハーモニー管弦楽団の指揮者として迎えられ、CD制作を行うなど積極的な活動を展開。2009年4月からは同団正指揮者に就任。2009年4月にはサンクトペテルブルク交響楽団定期に出演し、大成功を収めた。現在、オペラ、オーケストラの両面において着実な成果を積み上げている指揮者として、ますます注目を浴びている。



## 村上 麻理 (ピアノ)

洗足学園大学音楽学部器楽科ピアノ専攻を卒業、同大学専攻科修了。

黒田素子、増田真理子、マックス・エッガー、横山幸雄、加藤徹各氏に師事。

1991年～1996年富山広域圏文化交流事業クラシックシリーズ・富山テレビクラシックシリーズにてソロリサイタル出演。

1998年～2001年新ブダペスト弦楽四重奏団とシューマン「ピアノ五重奏曲」を共演、日本・ポーランド国交樹立80周年記念。

コンサートショパン物語出演、ルビンシュタイン弦楽四重奏団とピアノ五重奏曲を共演。また、室内楽、歌曲、管楽器等の伴奏でも活躍している。2005年立山町音楽協会主催招待音楽会で「とやまレディース・オーケストラOASIS」とモーツァルトのピアノ協奏曲を共演。

2005年富山県芸術文化協会奨励賞表彰。現在、富山県立保育専門学院非常勤講師・ミヤコ楽器店ピアノ科指導講師・富山県ピアノ指導者協会委員・合唱団おおよそ、コロバストラレ専属ピアニスト。



# Chorus Ohyama 合唱団おおやま

95年8月に旧大山町民を中心に結成。96年8月に第1回の「夏のメサイア」を公演。以来、毎年夏にオーケストラとの共演による公演を重ね、今回が結成16周年で16回目の演奏会となる。オーケストラ・アンサンブル金沢とは14回目の共演。富山市大山文化会館で、毎週水曜日夜、練習を行っている。



<http://ww2.ctt.ne.jp/~ohyama/>

合唱団おおやま

検索

合唱団おおやまでは、団員を募集しています。随時、練習の見学を歓迎します。

お問合せは富山市大山文化会館  
(076-483-0001)まで。

## ソプラノ

岩竹 幸絵 / 岩竹 李奈 / 岡本 洋子 / 高田 琴織 / 高橋 真由美 / 谷崎 キミ子  
谷崎 千紗 / 谷崎 千鶴 / 千葉 多恵 / 原田 美里 / 山崎 忍

## アルト

麻畠 利子 / 稲垣 聖子 / 井上 澄子 / 岡本 祀子 / 岡本 智子 / 桶谷 道子  
奥野 知子 / 片山 美富里 / 木村 まゆみ / 五井 礼子 / 小泉 康子 / 高木 茂子  
仲井 葉子 / 中川 律子 / 平崎 康子 / 村椿 伸子

## テノール

井内 学 / 廣野 正和 / 牧 重和 / 三羽 康嗣 / 山崎 勝幸

## バス

窪田 英史 / 谷崎 修一 / 野入 豊光 / 野尻 芳邦 / 丸山 隆

## 合唱指揮 内山 太一

武蔵野音楽大学声楽科卒 ミュンヘン国立音楽大学声楽科卒。シューベルトの三大歌曲集「美しき水車小屋の娘」「冬の旅」「白鳥の歌」等ドイツ歌曲のリサイタルを数多く開催。藤原歌劇団公園のオペラやメサイア、ベートーベン第九等数多くのコンサートに出演。NHKFM等ラジオ、テレビにも出演。1993年再度一年間ドイツに留学。これを機に故郷上市を拠点に演奏活動を展開している。合唱団おおやまの他、入善混声合唱団、男声合唱団「ジョイフル・フレンズ」、黒部第九を歌う会、上市町子供の城児童合唱団、大地の会女声合唱団等の指導。

元武蔵野音楽大学声楽科講師 元洗足学園魚津短期大学声楽科講師、声楽研究グループ 大地の会主宰

## Orchestra Ensemble Kanazawa

# オーケストラ・アンサンブル金沢

1988年、世界的指揮者、岩城宏之が創設音楽監督（現在、永久名誉音楽監督）を務め、多くの外国人を含む40名からなる日本最初のプロの室内オーケストラとして石川県と金沢市が設立。2001年金沢駅前に開館した石川県立音楽堂を本拠地とし、世界的アーティストとの共演による年20回の定期公演や、北陸、東京、大阪、名古屋での定期公演など年間約110公演を行っている。2011年夏、シュレスヴィヒ=ホルシュタイン音楽祭（ドイツ）、ラ・ロック・ダンテロン国際ピアノフェスティバル（フランス）からの招聘を含む15度目となる海外公演を実施。設立時よりコンポーザー・イン・レジデンスを実施、多くの委嘱作品を初演、CD化している。ジュニアの指導、学生との共演、邦楽との共同制作などオーケストラ育成・普及活動にも積極的に取り組んでいる。ドイツグラモフォン、ワーナーミュージックジャパン、エイベックスなどメジャーレーベルより80枚を超えるCDを発売。07年1月より、指揮者の井上道義を新音楽監督に迎え、新たな活動を展開し、注目を集めている。08年より毎年開催されている世界的音楽祭「ラ・フォル・ジュルネ金沢」の中心的役割を担っている。

